

## ◆2022年度 群馬県立女子大学出前講座一覧

◆受講対象者は原則として高校生以上です(中学生以下の受講にも対応できるものについては特にその旨表記をしています。)

◆講義時間は各講座とも90分です。

	分野・タイトル等	分類1	分類2	概要	教員名	対象者
30	俳聖芭蕉一季語の変革者ー	文学	日本文学	芭蕉は、笑いの具にばかり利用されていた季語に、詩語としての命を吹き込み、人生詩・自然詩の器に再生させた、季語の変革者です。この講座では、芭蕉句を年代順に季節ごとに味読することによって、季語の伝統と変革の過程を学びます。	安保 博史	限定なし
31	萩原朔太郎と蕪村	文学	日本文学	群馬が生んだ近代詩の巨星萩原朔太郎は、『郷愁の詩人 与謝蕪村』(昭和11年刊)一書をもって、蕪村俳諧の詩情(ポエジイ)の本質がく郷愁>であることを発見し、蕪村句の<近代性>を鋭く解き明かしましたが、その評価は今も揺るぎません。この講座では、朔太郎の蕪村再発見のプロセスとその後の影響をたどります。	安保 博史	限定なし
32	京極派の和歌を読む	文学	日本文学	中世和歌の中で、特に叙景歌(風景を題材とした歌)を得意とした京極派と呼ばれる歌人たちの歌を取り上げ、その風景の切り取り方にどのような特質があるのか、それは和歌の流れの中でどのような意味を持つものなのかなどといったことを考えます。	板野 みずえ	限定なし
33	『百人一首』を読む	文学	日本文学	かるたとしても馴染み深い『百人一首』。しかし実は非常に謎の多い作品でもあります。一体どういう作品であるのか、成立の経緯を追うとともに、そこに収められた和歌を読み解き、『百人一首』という存在に迫ります。	板野 みずえ	限定なし
34	『新古今和歌集』を読む	文学	日本文学	和歌文学の到達点とも言われる『新古今和歌集』、『万葉集』や『古今和歌集』に比べるとあまり有名ではないかもしれませんが、藤原定家という和歌史に残る大天才を中心に、西行・後鳥羽院・藤原家隆といったそうそうたる顔ぶれの歌人が揃った奇跡の時代の歌集でもあります。これはぜひ押さえておきたいという有名な和歌を中心に、『新古今和歌集』の魅力的な和歌を味読します。	板野 みずえ	限定なし
35	泉鏡花の「天守物語」	文学	日本文学	「天守物語」は、姫路城の天守閣に住む妖怪の物語ですが、それらは、先行する伝説を基にして造形されています。近代人である鏡花が、前近代の伝説をどのように取り入れ、何を描こうとしたのかについて、映像資料も紹介しながらお話しします。	市川 祥子	限定なし
36	泉鏡花の「夜叉ヶ池」	文学	日本文学	「夜叉ヶ池」は、岐阜県と福井県の県境に実在する夜叉ヶ池に住む妖怪と麓の人間との、雨乞いをめぐる物語ですが、それらは、先行する伝説を基にして造形されています。近代人である鏡花が、前近代の伝説をどのように取り入れ、何を描こうとしたのかについて、映像資料も紹介しながらお話しします。	市川 祥子	限定なし
37	知られざる群馬の作家たち	文学	日本文学	これまで埋もれていた群馬県出身の作家の活動や作品を紹介し、その特質について考えます。綿貫六助(昭和)、生方敏郎(沼田)、倉田潮(玉村)、大木雄二(赤堀)、中澤静雄(倉賀野)らを取り上げます。	市川 祥子	大学生・社会人
38	樋口一葉の「にごりえ」	文学	日本文学	「にごりえ」は明治28年(1895)9月に発表されました。東京の新開地・丸山福山町の銘酒屋を舞台に、彼女にいれあげて店を潰してしまった源七(と家族)、金切れが良く彼女に会いに店に通う朝之助との関係を軸に、天涯孤独の酌婦・お力の思いが綴られます。映像資料も紹介しながらお話しします。	市川 祥子	限定なし
39	物語の中の清明	文学	日本文学	陰陽師・安倍晴明が登場する「説話」「浄瑠璃」「語り物」「戯曲」などを、中世末から近代までたどることにより、現在流通している清明像がどのように形作られてきたのかを考えます。	市川 祥子	限定なし
40	桃源郷はどこにあるのか?—「桃花源記」を読む	文学	漢文学	“桃源郷”の典拠となる、陶潜「桃花源記」は、中国のみならず日本においてもよく親しまれている。その影響の跡を辿りながら、東アジアにおける理想郷の諸相を考えてみたい。	井上 一之	高校生・社会人
41	中島敦「山月記」と「人虎伝」	文学	—	中島敦の「山月記」は、中国唐代の伝奇小説「人虎伝」を基礎にして作られたことはよく知られている。この講座では、両作品の比較を通して、日本と中国の相違や中島敦の文学について考えてみたい。	井上 一之	高校生
42	現代文学の表現	文学	日本文学	20世紀の文学、芸術に大きな影響を与えたダダイズム、シュルレアリズムの表現について考えてみます。草野平や西脇順三郎の詩を具体的な材料にして現代文学の表現の楽しさを知っていただけたらと思っています。	権田 和士	限定なし
43	近代文学と宗教	文学	日本文学	近代日本を代表する作家の一人である夏目漱石の小説や随筆を材料として、漱石が近代社会をいかに捉え、宗教にどのように向き合ったのか、考えてみたいと思います。	権田 和士	限定なし
44	近代文学としての批評	文学	日本文学	小林秀雄は批評を独立した文学作品とし、日本において近代批評を確立した批評家として知られています。批評はどのようにして「文学」となったのでしょうか、また、そこでは他者と自己の関係はどのようなものとなっているのでしょうか。小林秀雄の小品を読んで、そのようなことを考えてみたいと思います。	権田 和士	限定なし
45	日本語研究者、古典文学の解釈を考える	文学	日本文学	文法や古典単語は嫌いだけれども、文学は大好きという皆さんへ。文法も古典単語も、やる時はやります! 文学の読みに日本語学的な知見が役立つことを、『伊勢物語』『枕草子』などの具体例をもとに紹介します。	富岡 宏太	高校生以上

	分野・タイトル等	分類1	分類2	概 要	教員名	対象者
46	英米の動物詩を読む	文学	英米文学	詩には、古くから多くの動物が登場してきました。身近な動物、架空の動物。描かれ方も寓意的・写実的とさまざまです。イギリスやアメリカの詩に現われる動物たちの姿を通して、人と動物との意外な関わりに触れてみましょう。	島田 協子	限定なし
47	ヴィクトリア朝人と中世の世界	文学	英米文学	19世紀後半、「大英帝国」として繁栄を遂げたヴィクトリア朝イギリス、そして新興国であったアメリカでは、急速な社会変貌による様々な矛盾も問題視されるようになります。中世という遠い過去の世界に、失われた理想郷や、みずからの時代を省みる鏡を見出した作家たちの試みをご紹介します。	島田 協子	大学生・社会人
48	文学の中のアニミズム	文学	—	世界を持続可能なものにする実践として、アニミズム — 非人間を人間と同じ人格であるとする思考 — が現れる文学作品を読み解きます。	松崎 慎也	限定なし
49	洋楽の英語歌詞を楽しむ	文学	英米文学	洋楽(ポップスやロック)の英語歌詞を鑑賞します。読んで、歌って、楽しみながらの英語レッスンです。	松崎 慎也	限定なし
50	萩原朔太郎とくふらんす>	文学	日本文学 フランス文学	「ふらんすへ行きたしと思へども／ふらんすはあまりに遠し」と詠った朔太郎にとってくふらんす>はどのような国だったでしょうか。講座では、詩篇「旅上」をめぐって、朔太郎とフランスの詩人の関係、朔太郎と同時代の詩人との比較から、その作品がいかに「現代的」であるかを紹介します。	井村 まなみ	限定なし
51	フランス詩を読む	文学	フランス文学	ボードレールやヴェルレーヌ、日本の近代詩に大きな影響を与えた19世紀フランスの詩人たちは、厳密な形式にのせて、様々な作品を書きました。講座では、そのなかの「ソネ」と呼ばれる形式を取り上げ、フランスの詩の美しさを紹介しします。美しい音の響きは、フランス語を学んだことのない人も充分味わえるものです。	井村 まなみ	限定なし
52	『星の王子さま』を読む	文学	フランス文学	内藤濯の名訳で、子どものころ『星の王子さま』を読んだ方は多いでしょう。今も世界中で愛されるこの小説の名場面を取り上げ、作品の魅力について一緒に考えましょう。講義では、フランス語原文、日本語訳、英語訳を参照します。	井村 まなみ	一般・高校生